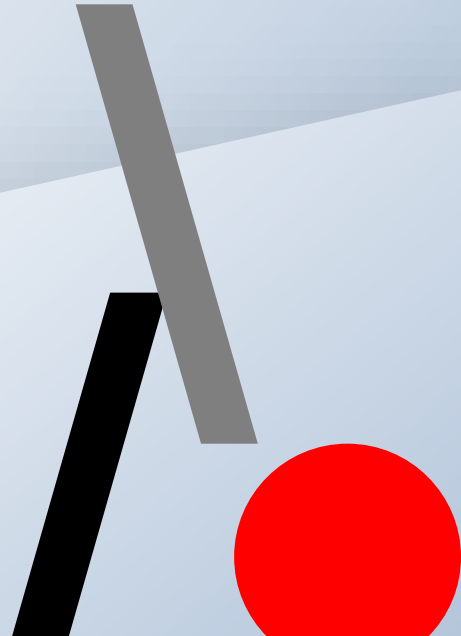
資料１－１

花咲スポーツ公園の再整備について

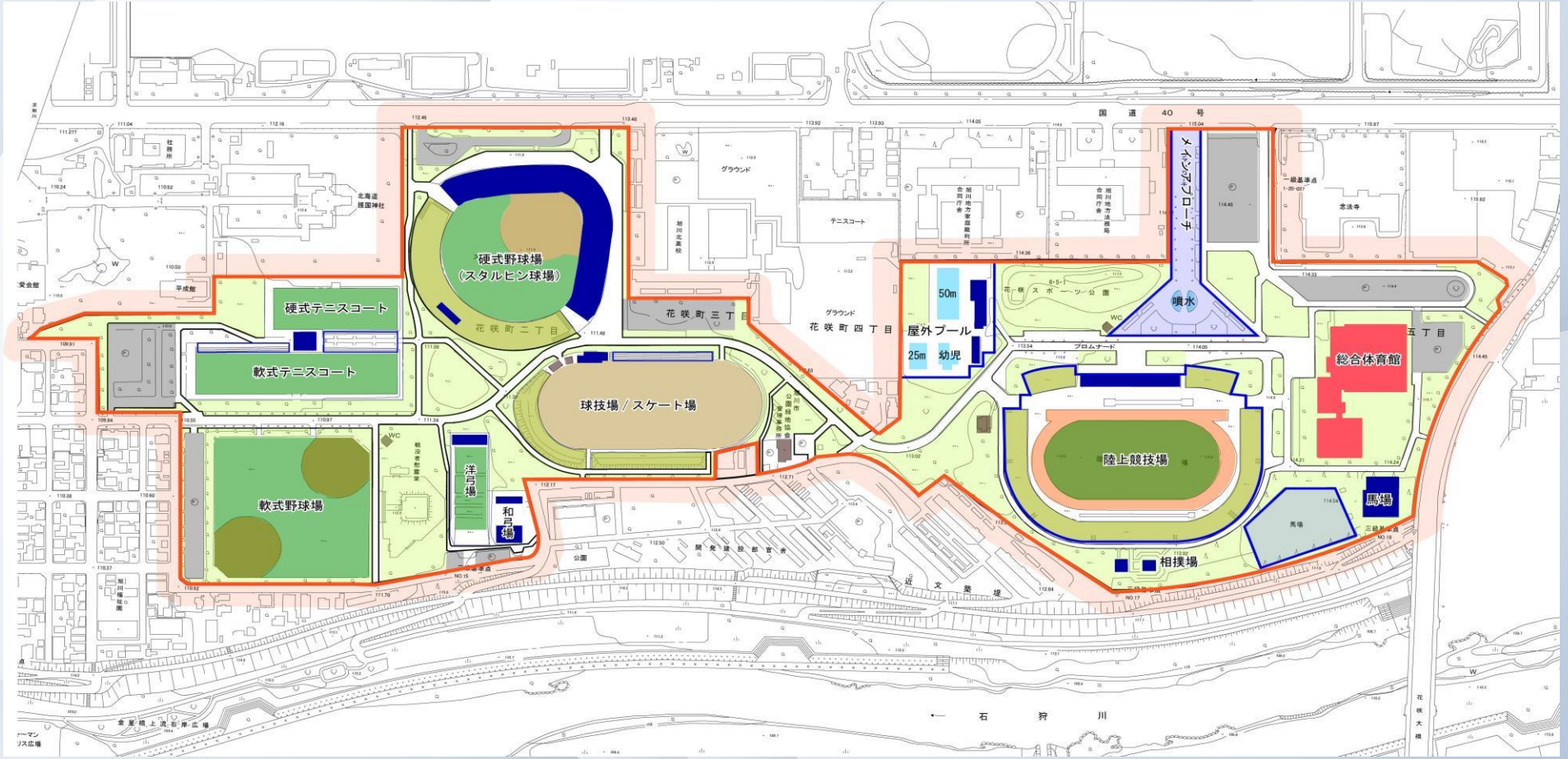
R6年度第１回
スポーツ推進審議会
2024/07/10
スポーツ施設整備課

－本日の内容－

- ✓ 花咲スポーツ公園再整備基本構想策定
- ✓ 今後の流れについて



花咲スポーツ公園再整備基本構想



花咲スポーツ公園再整備基本構想

■基本構想策定の目的と課題

1 施設の老朽化

・建設から３０年以上経過した施設が多く耐用年数を超える設備等への対応が必要

2 多様化するニーズへの対応不足

・売店が少なくトイレは和式が多いなど利便性が低く多様化する昨今のニーズに対応しきれていない状況
・防災拠点としての機能強化

■花咲スポーツ公園再整備に向けた基本的な考え方

【再整備にあたって考慮すべきポイント】

- 全道大会等の大規模大会開催頻度の高い施設の優先的な施設更新の検討
- 老朽化が著しく使用に支障がある施設の優先的な施設更新の検討
- スポーツ利用者だけでなく幅広い市民が楽しむことのできる施設となるよう，リニューアルや新たな施設の設置を検討
- 災害時の避難環境の整備を検討
- 官民連携による財政負担の軽減と平準化を検討

各施設の今後の方向性（２本の柱）

既存施設の機能維持

【既存機能維持施設】
再整備に際し既存施設の規模や機能を，そのまま維持していく施設
＞スタルヒン球場，陸上競技場，テニスコート（硬式８面　軟式１０面），
軟式野球場（２面），弓道場，洋弓場

【既存機能見直し検討施設】
再整備に際し，ニーズ等の変化により機能の見直し検討が必要な施設。
＞球技場（サッカーコート１面　冬期スケート場），プール（50m・25m・幼児用）
馬場，相撲場，メインアプローチ，遊戯施設，駐車場（公園内約７５０台）

※各施設については個別施設計画において基本的な整備方針を検討

建替え＋新たな機能導入検討施設

花咲スポーツ公園新アリーナ基本構想
再整備に際し，新たな機能の導入を検討する施設
＞総合体育館　＋　新たな要素の追加（防災機能強化等）

花咲スポーツ公園再整備基本構想

■総合体育館の課題

1 老朽化の進行
- 築４０年以上が経過し，メインアリーナは非耐震の状況

2 代替施設がない
- 市内及び道北エリアのスポーツ拠点であるが，周辺に同規模の施設がない。

3 スポーツ施設の不足
- 市民ニーズに対してスポーツ施設が不足

4 機能・設備の不足
- プロスポーツや昨今の利用ニーズのほか，スポーツ以外の用途に対応不可

5 財源の確保
- 自治体負担の軽減が必要

■総合体育館の建替えの方向性

- 施設全体の老朽化が進行していること，改修工事期間の代替施設が周辺にないことから改修ではなく，同公園内の別敷地に建替（現総合体育館は解体）
- 東光スポーツ公園（東光SP）基本計画の複合体育施設とあわせて市民スポーツ推進の受皿
- 単なる体育館の建替ではなく，プロスポーツやライブ・コンサートなど多目的な用途に対応したプロフィットセンター機能を有する多目的アリーナ
- 市民の安全・安心に寄与するため，災害時における防災拠点機能の強化を検討
- 整備コストの縮減や平準化，新たな魅力の創出を実現するため，民間活力の活用を検討
- 花咲スポーツ公園（花咲SP）全体を地域の賑わいづくりや健康で豊かな市民生活の実現に向けた再整備の中心となる施設

新アリーナの概要

● **規模・機能**

市民利用の機会確保と興行利用等に対応できる面積や機能・設備を整備

✓ 面積の考え方

メインアリーナ	花咲SP新アリーナと東光SP複合体育施設の2施設で，主要な屋内競技の全国大会開催に必要な面積（競技面数）を確保
サブアリーナ	大会利用時のサブ会場やアップ会場として使用できるよう，競技面積の一番広いバレーボールコート1面分の面積（34m×19m）を確保
多目的室	バドミントンや卓球，格技（柔道・空手・レスリング等），アーチェリー，ダンス，健康教室など多目的な利用に対応するため300㎡（20m×15m）程度の面積を確保

✓ 機能・設備については他都市のアリーナを参考に検討

施設	面積	機能・設備
メインアリーナ	約2,200㎡以上 （バスケ2面・バレー2面・バド12面・卓球20面）	・観客5,000人以上収容 ・多様な目的に対応する照明や音響設備
サブアリーナ	約700㎡以上 （バスケ１面・バレー1面・バド4面・卓球５面）	・必要最小限の観客席の設置
多目的室	約300㎡以上 （バド2面・卓球２面）	・多目的な利用に対応可能な設備

東光スポーツ公園整備事業

花咲スポーツ公園との整合性を図り，計画内容を精査しながら事業を促進

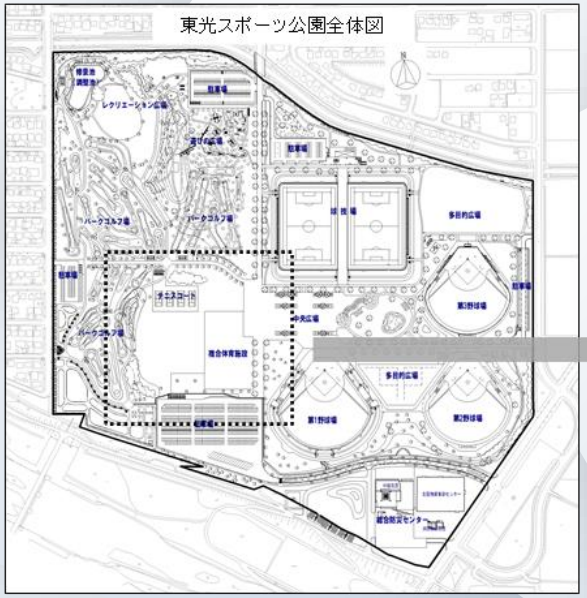
東光スポーツ公園整備事業（平成１３年から事業実施）

基本理念　「スポーツを日常的で身近なものにする」「誰でもがスポーツを楽しむ機会を増やす」「スポーツ交流の機会を増やす」

整備テーマ「より身近に，より楽しく，より健やかに」

「軟式野球場」「球技場」「テニスコート」「パークゴルフ場」が整備済

「複合体育施設」の整備を残すのみとなっている



複合体育施設　体育館，小体育館，武道館による
武道館は令和２年度に開館

武道館

施設概要（基本計画より）

体育館	床面積	約２，８６０㎡（バスケット３面）
	観客席	固定席約２，０００席
		（移動席，仮設席も含め５，０００席を確保）
小体育館	床面積	約　　９５０㎡（バスケット１面）
武道館	床面積	約１，１００㎡（柔道３面）

今後の流れについて

R５

- ✓ 花咲スポーツ公園再整備基本構想策定

R６

- ✓ 花咲スポーツ公園新アリーナ基本計画策定

  新アリーナの役割を精査した上で、求める規模・機能をより具体化し、設置位置の詳細について検討する

R７

- ✓ 花咲スポーツ公園再整備基本計画策定

  新アリーナの設置位置に合わせ、周辺施設の再整備の詳細について検討する

- ✓ 東光スポーツ公園整備事業の精査

"スポーツ"によるまちづくり

- ✓ 国では"スポーツ"が地域・社会に貢献し、競技振興への住民・国民の理解と支持を更に広げ、競技振興と地域振興の好循環の実現
- ✓ "花咲新アリーナ"と"東光複合体育施設"の両施設で、これからのスポーツ需要を「ささえる」環境を整備

プロフィットセンターへの転換を図り、「みる」スポーツの魅力を高め、まちの賑わいを創出

地域スポーツや健康増進などを目的とした「する」スポーツ活動の拠点